

お試しエコドライブの記録③

(生活協同組合ヘルスコープおおさか)



運転業務者研修会 (2008年9月6日、ヘルスコープおおさか会議室)

- | | |
|------------|------------------------|
| 2008年6月27日 | エコ・安全ドライブプログラムのご提案 |
| 7月22日 | ご担当者様との打合せ |
| 8月下旬 | エコドライブ事前アンケート |
| 9月1日 | 現場視察・送迎車同乗 |
| 9月6日 | 運転業務者研修会 (エコ・安全ドライブ講義) |
| 10月 | エコ・安全ドライブの取り組みご提案② |

■お試しエコドライブ参加事業所シート

事業者名	生活協同組合ヘルスコープおおさか	連絡担当者	高松浩一
住所	〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-24		
連絡先	TEL : 06-6915-8855	FAX : 06-6915-8822	e-mail :
事業内容	コープおおさか病院を基幹施設とする医療・介護・保健事業		
従業員数(全社員)	1,000(名)	うちドライバーの人数 : 50(名)	資本金:18億(円) 組合員81,015世帯
保有車両台数	50台		
営業用貨物 (軽自動車除く)	最大積載量 4 t 未満		
	最大積載量 4 t 以上		
	被けん引車(注1)		
営業用乗用車	50台		
<p>社内でのエコドライブに関する取り組みについて当てはまるものに○印を記入下さい。</p> <p>①ドライバー向けのエコドライブに関する社内研修を実施、又は、社外研修への参加を推奨 (はい ・ <input checked="" type="radio"/>いいえ)</p> <p>②社内で最高速度制限、アイドリングストップなどのルールづくりを行っている (はい ・ <input checked="" type="radio"/>いいえ)</p> <p>③現在、車両単位での燃料消費量に関する管理を行っている (はい ・ <input checked="" type="radio"/>いいえ)</p> <p>④ISOやグリーン経営認証など環境経営に関する認定制度に登録している (<input checked="" type="radio"/>はい) ・ いいえ →「はい」と答えた方は、認定制度名をご記入下さい→ (IS09001取得)</p> <p>⑤既に、車両運行管理・走行支援機器を導入している (はい ・ <input checked="" type="radio"/>いいえ) →「はい」と答えた方は、機器名及びメーカー名をご記入下さい→ ()</p>			

<事業者への聞き取りから>

(はい1・いいえ0)

問1 : 以前からエコドライブについて興味を持っておられましたか?

1

問2 : お試しエコドラ参加の動機 (重要性大5→重要性小1)

環境～ 5 燃費～ 5 安全～ 3 運行管理～

問3 : 1運行ごとの貨物積載量のデータはとっていますか? (緻密なデータはとっていない)

■第1回業務打合せ

日時：2008年7月22日（火） 14:00-15:00

場所：ヘルスコープおおさか本部（大阪市鶴見区）

参加（敬称略）：高松（ヘルスコープおおさか総務課長）、上田

■対象車・ドライバー

- 基幹病院と診療所、介護施設等を結んで運抗する送迎車の乗務員
- 一部委託業者が請け負っているルートもある。

■対応者の運行形態

- 午前9時、午後1時を基本ダイヤとするルート運行。
- 利用者（組合員）の要望に応じた個別移送への対応。

■実施の理由・期待

- 地球温暖化問題への関心、エコドライブによる燃費の改善、CO2削減でも効果を上げる。（背景に燃料費の負担増）
- エコドライブの取り組みを通して、安全・安心の保健・医療・介護サービスを提供する医療機関として地域に貢献する。

■現状

- 送迎車を中心に50台の車両が稼働しているが、自家用車のため運行管理者はいない。病院や診療所の総務が配車等の管理をしている。
- 走行距離、給油量、安全運転日報の記載はなく、データの集積もしていない。

■今後の流れ

- 9月に開催予定の運転業務者研修会で、ヘルスコープおおさかの方針とともにエコ安全ドライブについて学ぶ。
- 運転業務者研修会后、その後のエコ・安全ドライブの展開について協議する。

■現場視察・送迎車同乗

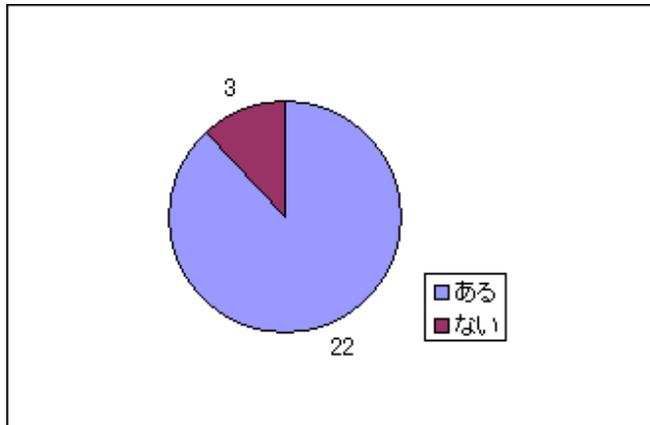
- 2008年9月1日に、送迎車に上田が同乗して乗務員からお話しを伺った。ヘルスコープおおさか病院総務課の安正夫様が同行した。



■エコドライブに関するアンケートの実施

運転業務者研修に先立ち、アンケート調査を実施した。(回答者37人)

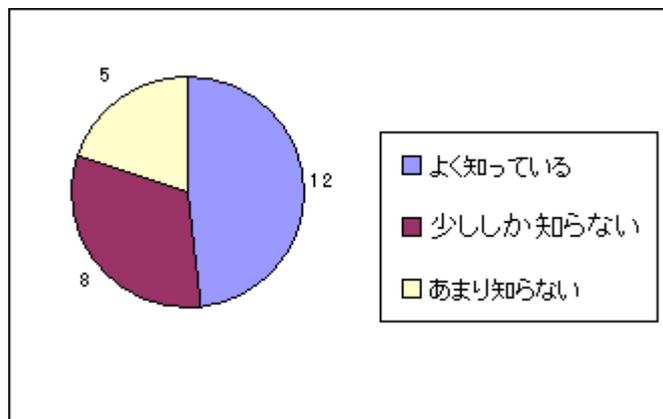
問1 エコドライブという言葉を知っていますか？



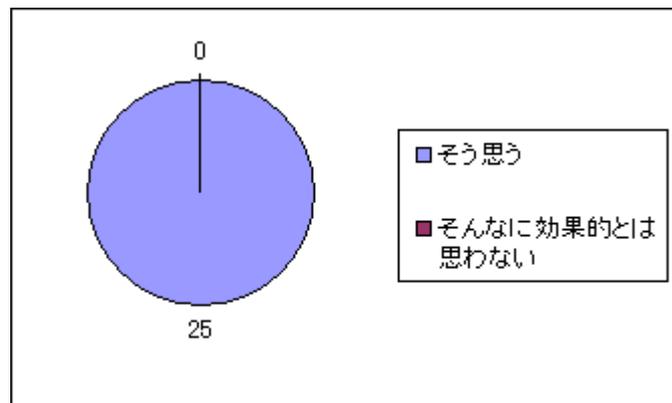
問2 エコドライブの中身を知っていますか？

エコドライブとは以下のような運転方法をいいます。

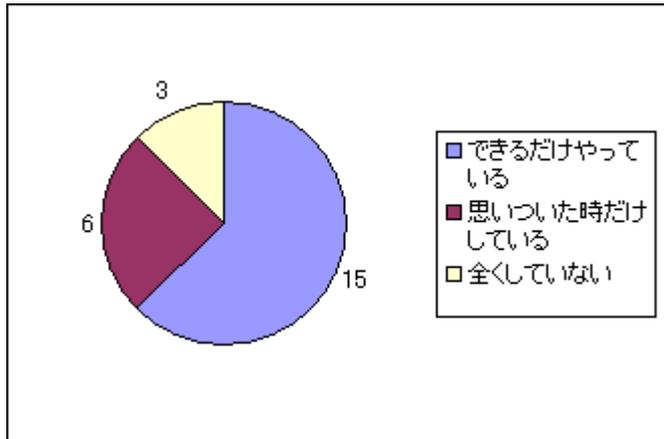
- ①無用なアイドリングを止める
- ②経済速度で走る 一般道40km/時 高速道80km/時
- ③無駄な空ぶかし、急発進、急ブレーキを止める(極力、クリープ現象を利用する)



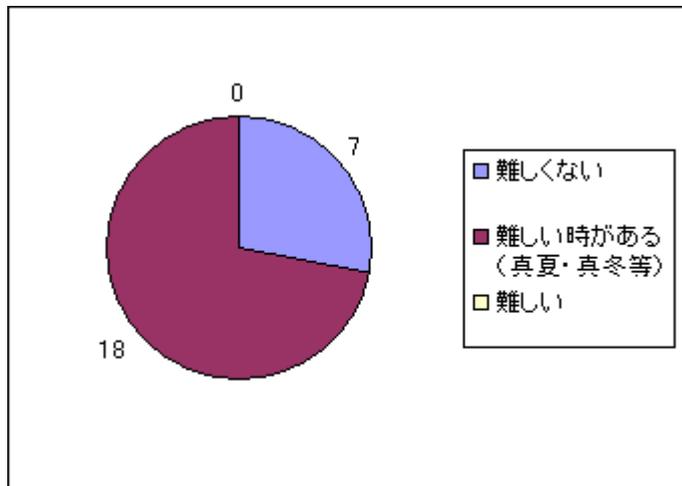
問3 無用なアイドリングを止めることは環境に良いと思う。



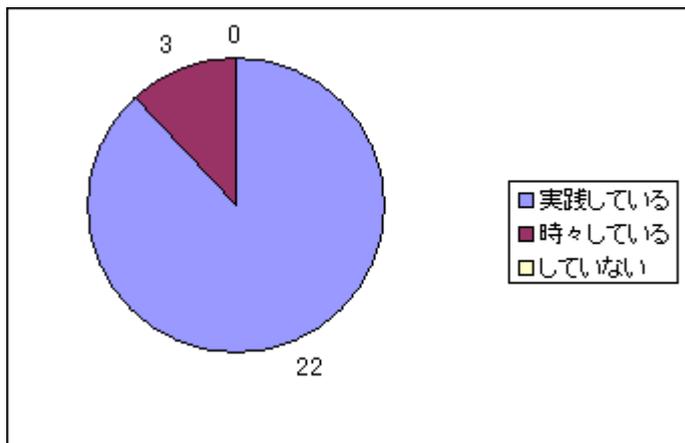
問4 利用者待ちや長い信号待ちのアイドリングストップについて



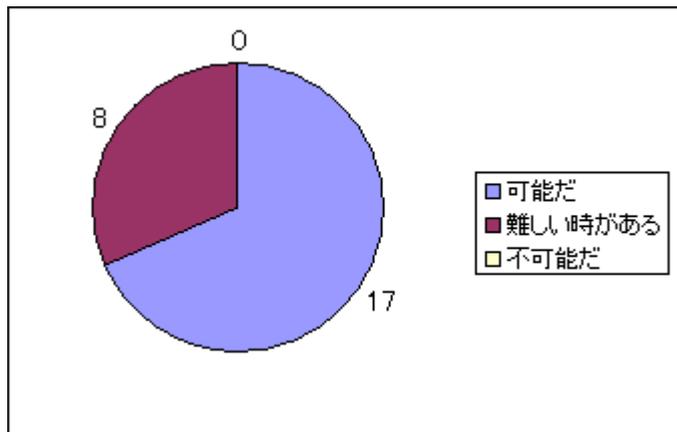
問5 無用なアイドリングを止めることは難しいでしょうか？



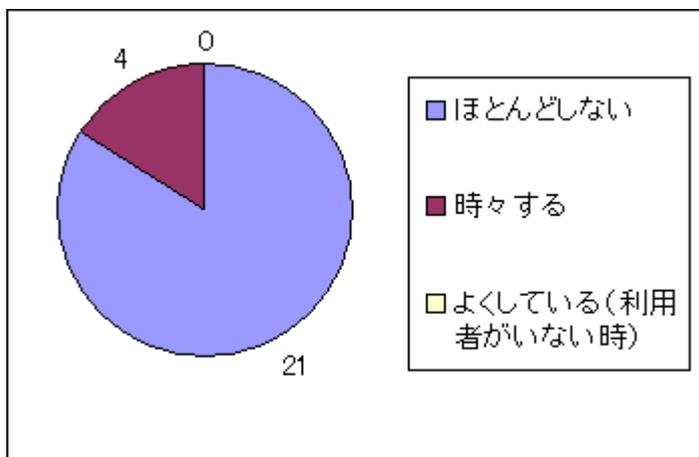
問6 経済速度で走っていますか？



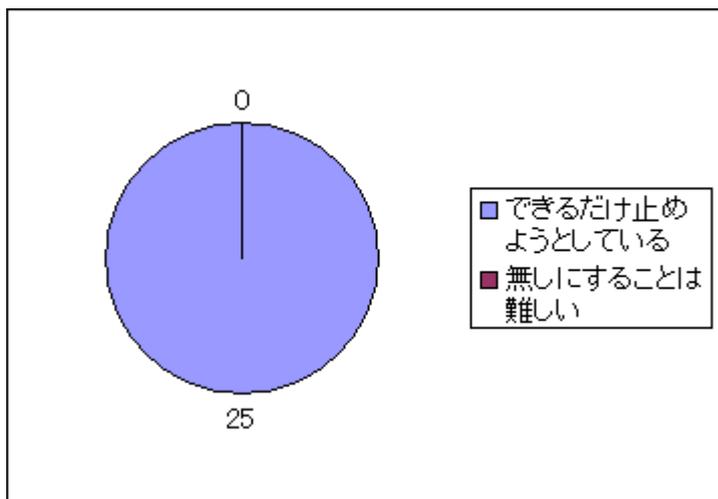
問7 経済速度で走ることは



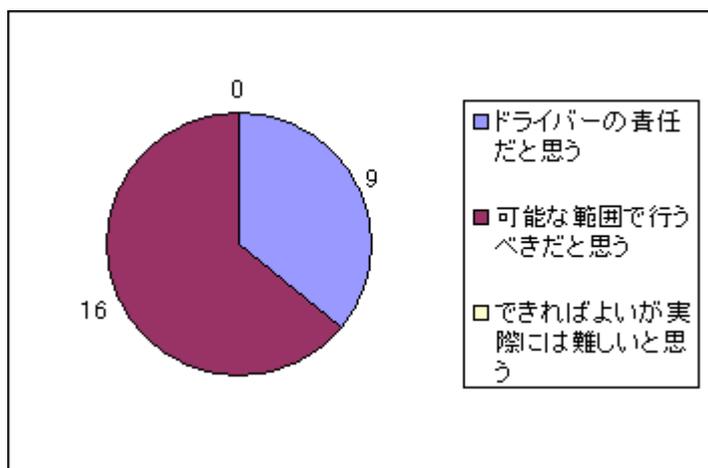
問8 急発進、急加速、急減速は



問9 急発進、急加速、急減速は



問10 今後エコドライブに取り組むには



■ヘルスコープおおさか運転業務者研修会

- 実施日 2008年9月6日(土) 午後4時～6時
- 場所 ヘルスコープおおさか本部5階会議室

■研修会の目標

- ヘルスコープおおさかの方針を学ぼう！
- エコ安全ドライブについて学ぼう！

■内容

- 基調報告 ヘルスコープおおさか 池田専務理事
- 「エコ・安全ドライブの実践」上田敏幸(あおぞら財団)

エコ安全ドライブの実践

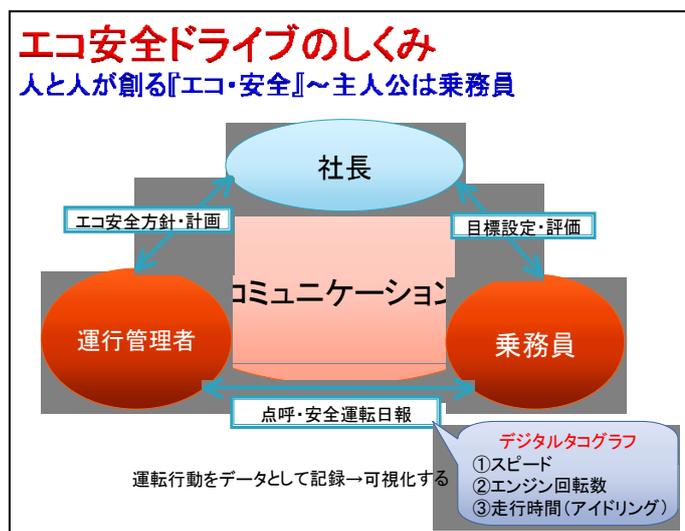
あおぞら財団：上田敏幸

1. はじめに

- あおぞら財団の紹介
- みなさまのご縁～金谷理事長は多くの公害患者の治療に関わる。裁判の証人にも。
- 上田の仕事は…エコドライブ事業の担当者、機関紙・リベラの編集など

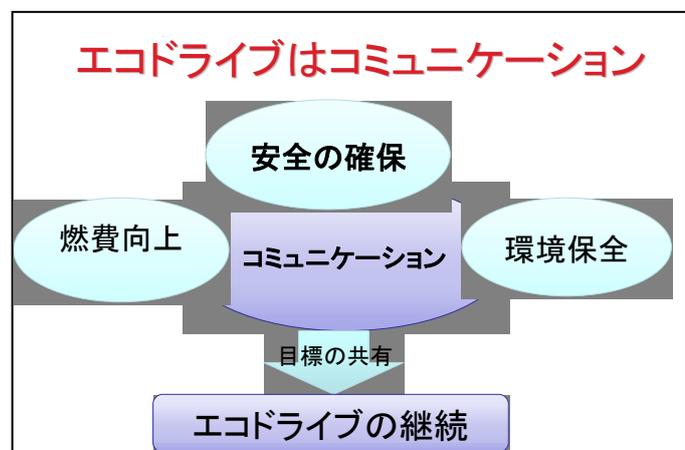
2. あおぞら財団のエコドライブの取り組み

- 車載器を使ったエコドライブ～主人公はプロのドライバー
- たった3台から始めた社会実験が39社315台に広がる。



3. エコドライブの成果

- 燃料高騰のさなか、取り組みは歓迎された。→社長の決断
- ドライバーに目線から考えたエコドライブ支援プログラムの提供→大阪大学：松村先生（トラック事業者も参加する研究会に環境大臣賞受賞：平成17年度）
- 成果が目に見えること→意欲的に取り組むドライバーも生まれる。
- ドライバーとの接点・現場で苦労している運行管理者の力量が取り組みを左右。
- データの蓄積がカギでした←大阪大学新田研究室の協力／研究の対象としてのべ4人の学生がこの事業に関わりました。（卒論、修論）
- 燃費向上とともに、安全運転での成果が広がる。まさに一石四鳥。
- こうした取り組みを自家用車（トラック）、営業車、マイカーにまで広げたい。



4. エコドライブはコミュニケーション

- コスト削減・安全運転・環境にやさしい～エコドライブ。支えるのはコミュニケ

ーション。活動継続の源泉にもなる。

- 安全・安心が「売り物」の医療機関にとってエコ安全ドライブの推進は必須条件。

5. エコドライブの主人公～みなさまの潜在力

- コープおおさかのみなさんのエコドライブへの意識～アンケート結果から
- コープおおさかの「1年間の事故」～ひとつの事故で保険料はかけ算（無事故割引も）
- ひとつの事故が命取りになることが…大きな社会的損失。

6. なぜいまエコ安全ドライブか

- 地球と次世代へのエコ行動として（環境・地球よし）
- 地域の医療機関の社会的責任として（地域・世間よし）
- 人びとの移動の担うプロのドライバーとして（誇り・自分よし）

エコドライブの効用～一石四鳥

- ①コスト削減 燃費が向上するので、燃料費が節約出来ます。
車両整備費の削減にもつながります。
- ②安全運転 無理な運転を減らし、余裕をもって運転することで、安全運転につながります。
- ③環境対策 地球温暖化防止(CO2排出量の削減)、
大気汚染の改善(Nox排出量削減)につながります。
- ④ドライバーとしての誇り
地球のこと、家族のことを考えるドライバーとして
子ども達に誇れます。

7. まずは、走行距離と燃料使用量（給油量）の記録から始めませんか？

ヘルスコープおおさか運転業務者研修の感想と評価

実施日 2008年9月6日(土) 16:00~18:00

場所 ヘルスコープおおさか本部会議室

講義者 上田敏幸(あおぞら財団)

「エコ安全ドライブの実践」

出席者 38人(アンケート回収数35)

評価 1. 全く理解出来なかった 2. わかり辛かった 3. ふつう

4. 理解できた 5. 大変よく理解できた * (氏名) 数字=評価

- 非常に興味深く聞けた。これはすぐに実践すべきだと思う。(安正夫) 4
- 一人ひとりの取り組みでもコープおおさか全体では大きなものとなるとおもいました(上西勝) 4
- ある程度は理解しているつもりでしたが、今日を機に安心、安全とエコドライブに精進します。(辻野功) 5
- 安全運転、エコドライブの意識向上に努める。経費削減を常に意識して運転をします。(見永勉) 4 *優良ドライバーの愛車、無事故、手当等を要望
- エコの話聞いて、大変勉強になりました。これからエコ安全運転、また、ガソリン節約に努めます。(宮崎常幸) 4
- 最近異常に燃料が高騰し運転手一人一人が燃費削減に努力すること、地球にも優しいエコドライブをしましょう。(玉岡芳子) 3
- アイドリングストップ~大きな交差点では信号が替わるのが長いので、エンジンストップ。急発進、急加速、急減速~時間は常に余裕をもっていけば必要なし(時間に追われないような計画=気持ち=を持つ)。利用者さんが乗降するまで、エアコンをかけっぱなしで待っている車もあるようですが、私の車は、車が動いているときと利用者さん(車いす)が乗降するとき以外はエンジンは切っているのでデジタコ等は必要ないですね。今日の話聞いて、以前からガソリンスタンドへ行くたびに走行距離とkm/ℓの燃費をいつも書いていましたが、自分のやっていたことが正しかったことがわかりました。当然会社の車もやっています。(大塚保) 3
- 出来ることから始めます。(結城彰彦) 4
- エコドライブは、一石四鳥は勉強になりました。今後も安心、安全の運転を心がけて!と思います。(碓井茂)
- あおぞら財団の(公害地域再生センター)のことも、エコドライブのことも今回初めて知りました。これだけ生活の中でエコ運動が浸透されている流れの中にあっては、運転従事者も「エコ」を心がけるのは当然だと、おくれればせながら思いました。(美見陽子) 4
- 送迎にご一緒して頂きありがとうございました。エコと安全運転には日ごろより心掛けています。(加藤和世) 5
- 自分もやさしい運転をしたいと思いました(大野修蔵) 4

- エコの運転を心掛けることにします。(林慶蔵) 4
- 物流会社でも働いており、安全運転とエコ運転については、いつも虚位苦を受けたいです。(余村純一) 5
- エコドライブ=無用なアイドリングをやめる。今後の業務に生かしていきます。*「1年間のじこについて」ですが、毎回このような形で報告がありますが、1件1件事例を具体的に知れたらとおもいます。(中園慎二) 5
- 声も大きく大変わかりやすかった。(藤田忠春) 5
- エコドライブする事によって社会環境がよくなる事が詳しくわかった。(梁川賢一) 4
- 環境にやさしい運転に取り組む。(守田正晴) 4
- (中前多美恵) 4
- エコドライブの目的や効果がよくわかった。とりくんでいく必要性も、義理的なものではなく、地球的グローバルな視点やミクロ的な医生協運動とも合致していると思う。問題はどうか、いかに継続させるか、各人に任せてしまったら長くは続かないでしょう。(広瀬五郎) 4
- エコ安全ドライブの話を聞いてよくわかった。(山中政雄) 4
- 今後エコドライブを出来る限り実施します。(小野栄樹) 5
- 話し方、話の進め方、表現、話の持って行き方等々…素栄しかった。自分が話す立場にな事も多いので、大いに参考になった。他の講習等で多くの講師のお話を聞く機会も多いが、聞かせる話し方は少ない。しかし本講義は大いにべんきょうになった。エコドライブは観念的には解っているつもりだったが、より具体的に理解できた。乗務員の車両に乗られた体験の上でのお話しは運転者にも気持ちはよく伝わったと思う。(中尾義宏) 5
- 今後エコドライブに注意する。(杉山吉弘)
- エコドライブの有効性(省エネ、事故減等)を理解。当社のドライバーに周知徹底させたいと思います。(西岡稔) 3
- ドライバーが支えるエコドライブ。エコドライブはコミュニケーション。①コスト削減②安全運転③環境対策④ドライバーとしての誇り。(柳井千城) 4
- 「やさしい発進を心がける」「加減速の少なく」「えあこんの使用を控えめに」「アイドリングストップ」上記事項を実施します。(納村勝昭) 5 *私どもの使用車が非常に燃費が悪いので、常々報告しています。
- 自分ではあるていどエコドライブが出来ているとおもっていたのですが、まだまだ出来ていないと思いました。今後は出来るだけエコドライブ取り組みたいと思います。(八木正明) 4
- エコドライブと安全運転をします。(徳山辛興) 4
- (稲垣順弘) 4
- (渡辺嘉津雄) 5
- (畑中正弘) 3
- エコドライブのことはよくききますが、内容は説明してもらって理解できたような気がします。(岡本基嗣)

- 何年傘木には重大な問題になると思う。講義の中にあった安心・安全・経済的に又、車の運転の数々のマニュアルがあるように、エコドライブには極めて厳しく取り組みたい！（無記名）

■エコ・安全ドライブのご提案①

2008年6月27日

ヘルスコープおおさか様

あおぞら財団

エコ・安全ドライブプログラム企画書

1. いまなぜエコ・安全ドライブなのか

■背景

- 1997年12月、日本が議長国となり京都で開催した気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)は京都議定書を採択。進行する地球温暖化を食い止め、二酸化炭素など温室効果ガスの法的拘束力のある数値目標による排出削減を長期的に地球規模で推進する取り組み～京都議定書の第1約束期間が始まった。(2008年4月)
- 大気中の温室効果ガスの濃度は今もなお増え続けており、人類の活動に起因する気候変動による悪影響が世界各地で頻発している。ICPP(気候変動に関する政府間パネル)は、20世紀後半の北半球の平均気温が過去1300年で最も高かったことを示したうえで、世界全体で温室効果ガスの排出を大幅に削減して大気中の温度を安定化させなければ、最大6.4℃も気温が上昇すると警告している。
- 温暖化問題は地球レベルの課題と地域レベルの課題が密接に関わっている。電力や鉄鋼などの大排出源の大幅な削減とともに、この間大きく増加している発生源として生活(家庭)や運輸部門があげられており、地域から問題を考え行動することが求められている。
- 持続可能な低炭素社会の実現には、多くの市民の参加と地域での取り組みが欠かせない。将来世代～子や孫たちの未来に安全な大気と生活を引き継ぐための機運は高まっている。具体的な行動を通して新しい豊かさの概念を見だし、共有することが可能となっている。
- いのちと健康を守る地域の医療機関による温暖化防止の取り組みは、「人権の尊重を貫き、安全と信頼、患者さま参加の医療の実現と健康づくりをすすめ」るヘルスコープおおさかの理念に合致する。

2. エコ・安全ドライブができること

- **へらす** 燃費が向上して燃料費を節約、大気汚染物質とCO2の排出量を減らす。
- **なくす** 安全運転で事故防止、事故ゼロをめざす。
- **広げる** 成果を共有し、環境問題への関心が広がる。
- **高める** 子ども達に誇れるエコドライバー誕生。

3. どんなことをするのか？（事業の流れ）

項目	内容	担当者
①エコ・安全ドライブ説明会	プログラムの説明	あおぞら財団
②エコ・安全ドライブ講習会	エコドライブの方法 デジタルタコグラフの説明	大阪府環境管理室交通環境課 浅羽計器
③デジタコの取り付け	デジタコを車輛（2～3台） に取付・取扱説明	浅羽計器
④普通の運転で走る	普段通りの運転をする（慣行 運転期間～1ヶ月）	あおぞら財団 浅羽計器
⑤デジタコの音声指導開始	音声指導による運転（1ヶ月）	あおぞら財団 浅羽計器
⑥ワークショップ（1）	エコ・安全ドライブ体験交流 気づきの共有（乗務員）	あおぞら財団
⑦ヒアリング	運行管理者	あおぞら財団
⑧ワークショップ（2）	エコ・安全ドライブ成果発表 と課題の抽出、感謝状贈呈	あおぞら財団

4. どんなふうにするか？

- 主人公は乗務員、エコ・安全ドライブはコミュニケーションが「いのち」！
- グループ・チームで推進～エコ安全ドライブの主人公は乗務員、既存の業務グループまたはチームが励まし合って活動をすすめる。
- デジタルタコグラフ（2～3台）による、データの収集、運転行動を記録して、運転行動の改善に役立てる。（デジタコ装着グループを設定する）
- 普段の運転（慣行運転）の走行距離と給油量の記録を、燃費改善目標チャレンジシートに記録する。（1ヶ月）
- エコ・安全ドライブ講習会のあと、会社の目標、乗務員の個人目標を設定。エコ・安全ドライブスタート。（デジタコの音声指導開始）
- 運転日報といっしょに燃費改善目標チャレンジシートを運行管理者に提出する。（管理者またはリーダーによるコメントの記入）
- エコ・安全ドライブの結果を基にワークショップ。乗務員の気づき、工夫、苦労話など肉声で交流する。
- ワークショップ（1）の結果を基に運行管理者、リーダーのヒアリングを実施。成果を検証する。
- ワークショップ（2）では、グループごとにこの間の成果を発表するとともに、次の課題を引き出し共有化、新しい挑戦への意欲を引き出す。

5. 発信する・つながる

- 大阪府エコドライブ実践事業者に登録して、エコドライブ出前講習を受ける。また、

エコドライブコンテスト（環境再生保全機構）にもエントリーする。

- ステッカー、缶バッジ、ノボリ、ポスターなど「エコドラグッズ」を活用して、利用者にもアピール、取り組みへのご協力を頂く。
- ホームページや機関紙で取り組みを知らせる。

6. スケジュール（案）

07年7月 エコ・安全ドライブについての打合せ（プログラムづくり）

8月 エコ・安全ドライブ説明会

9月 エコ・安全ドライブ講習会、慣行運転開始

11月 ワークショップ（1）

09年2月 ワークショップ

7. 費用（概算）

* ご相談のうえお見積もりさせていただきます。

<お問い合わせ・連絡先>

あぞら財団：公害地域再生センター

エコドライブ推進プロジェクト責任者

上 田 敏 幸 (ueda@aozora.or.jp)

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千舟 1-1-1

電話(06)6475-8885

Fax(06)6478-5885

■エコ・安全ドライブのご提案②

2008年10月1日

ヘルスコープおおさか様

あおぞら財団

エコ・安全ドライブプログラム企画書②

■知る・学ぶから行動へ

- 自分ではあるていどエコドライブが出来ているとおもっていたのですが、まだまだ出来ていないと思いました。今後は出来るだけエコドライブ取り組みたいと思います。
- エコドライブの目的や効果がよくわかった。とりくんでいく必要性も、義理的なものではなく、地球的グローバルな視点やミクロ的な医生協運動とも合致していると思う。問題はどうか、いかに継続させるか、各人に任せてしまったら長くは続かないでしょう。
- 最近異常に燃料が高騰し運転手一人一人が燃費削減に努力すること、地球にも優しいエコドライブをしましょう。

9月6日、運転業務者研修会の感想です。

運転業務従事者のエコドライブへの前向きな姿勢、何よりも患者・利用者（組合員）の移動を担うプロドライバーの誇りに依拠して以下の取り組みをすすめます。

1. エコ・安全ドライブができること

- **へらす** 燃費が向上して燃料費を節約、大気汚染物質とCO2の排出量を減らす。
- **なくす** 安全運転で事故防止、事故ゼロをめざす。
- **広げる** 成果を共有し、環境問題への関心が広がる。
- **高める** 子ども達に誇れるエコドライバー誕生。

2. エコ・安全ドライブプログラムの流れ

実施	項目	内容	担当者
10月	①エコ・安全ドライブの説明	プログラムの説明	あおぞら財団
10月	②エコ・安全ドライブの実施	燃費改善目標チャレンジシート の記入	乗務員
11月	③ワークショップ（1）	エコ・安全ドライブ体験交流 気づきの共有（乗務員）	あおぞら財団
09年1月	④ヒアリング	利用者、管理者、委託業者等	あおぞら財団
09年3月	⑤ワークショップ（2）	エコ・安全ドライブ成果発表 と課題の抽出、感謝状贈呈	あおぞら財団

4. どんなふうにするか？

■主人公は乗務員、エコ・安全ドライブはコミュニケーションが「いのち」！

- グループ・チームで推進～エコ安全ドライブの主人公は乗務員、既存の業務グループまたはチームが励まし合っ
て活動をすすめる。
- 走行距離と給油量の記録を、燃費改善目標チャレンジシートに記録する。(1ヶ月)
- エコ・安全ドライブの結果を基にワークショップ。乗務員の気づき、工夫、苦労話など肉声で交流する。
- ワークショップ(1)の結果を基に利用者、管理者、委託業者のヒアリングを実施。成果を検証する。
- ワークショップ(2)では、グループごとにこの間の成果を発表するとともに、次の課題を引き出し共有化、新しい挑戦への意欲を引き出す。

エコドライブを支えるツール①



走行距離と給油量の記録から始めてみては...

現状では利用者の乗車記録はあるが、日報はないということでした。



5. 発信する・つながる

- 大阪府エコドライブ実践事業者に登録する。また、エコドライブコンテスト(環境再生保全機構)にもエントリーする。
- ステッカー、缶バッジ、ノボリ、ポスターなど「エコドラグッズ」を活用して、組
員、地域へエコ安全ドライブの取り組みをアピールする。
- ホームページや機関紙で取り組みを知らせる。

7. 費用(概算)

* ご相談のうえお見積もりさせていただきます。

<お問い合わせ・連絡先>

あおぞら財団：公害地域再生センター
エコドライブ推進プロジェクト責任者
上田 敏幸 (ueda@aozora.or.jp)

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千舟 1-1-1

電話(06)6475-8885 Fax(06)6478-5885